

みどり 水土里ネット富山だより

(富山の土地改良情報)

2016
第570号

7月1日発行



「世界遺産・五箇山棚田オーナー事業」田植作業（南砺市相倉）

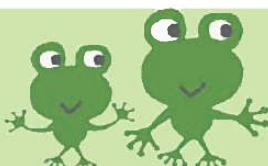
CONTENTS

● 第58回通常総会の開催	1	● 「井田川水系土地改良区」開所式で看板設置	11
● 就任のご挨拶	4	● とやま土地改良区運営基盤強化計画 [富山県土地改良区統合整備第4次推進計画]策定	11
● 全国水土里ネット表彰式	4	● 平成27年度「水の事故・ゴミ捨て防止」 —農業用水って何だろう?—標語及びポスター募集受賞作品	14
● 農業農村整備事業に関する要請	5	● 第5回「とやまの農山村写真展」入賞作品	16
● 「第68回全国植樹祭プレ大会」 (第17回とやま森の祭典)魚津市で開催	7	● <情報>土地改良施設の診断・管理指導及び相談	18
● 水土里探訪ウォーク・イン「黒部川」開催	7	● <情報>非補助農業基盤整備資金のご案内	18
● 北陸地区農地集団化促進協議会通常総会 及び農地集団化促進協議会研究会の開催	8	● <情報>富山県農業用水小水力利用推進協議会から	19
● 土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催	9	● <お知らせ>今後の主な行事予定 (平成28年7月～12月)	20
(1) 平成27年度富山県換地センター換地計画実務研修会	9	● <お知らせ>本会の機構図	20
(2) 平成27年度富山県担い手育成ほ場整備研修会	9		
● 「井田川水系土地改良区」及び 「大門町土地改良区」に合併認可書交付	10		



水土里ネット富山

(富山県土地改良事業団体連合会)



第58回通常総会の開催

平成28年3月18日富山市内「ホテルグランテラス富山」において、小林厚司北陸農政局長をはじめ、富山県知事（代理　須沼英俊富山県農林水産部長）、横山　栄富山県議会議長ほか、多数の来賓を迎える、本会の第58回通常総会並びに土地改良功労者の表彰式を開催しました。

表彰式では、長年に亘り土地改良事業の推進に功績のあった方々への表彰が行われました。富山県産業経済部門功労者（知事表彰）1名、富山県農林漁業功労者（農林漁業振興会長表彰）1名、土地改良功労者（県土連会長表彰）23名が受賞されました。

総会は、鹿熊副会長の挨拶のあと、来賓の方々から祝辞を頂き、議案審議では、議長に天坂紘範氏（呉羽射水山ろく用水土地改良区理事長）を選任し、議事に入り、提案した議案はすべて原案どおり可決承認されました。役員の補欠選

任では、永森雅之氏が学識経験者理事に選任されました。最後に決議を採択し、石田専務理事の閉会挨拶で総会を終了しました。

なお、総会終了後に理事会を開催し、永森雅之氏が専務理事に選任されました。



- 議案第1号 平成26年度事業報告・一般会計収支決算について
- 議案第2号 平成27年度一般会計収支補正予算の専決処分の承認について
- 議案第3号 平成28年度事業計画・一般会計収支予算について
- 議案第4号 平成28年度経費の賦課徴収の方法について
- 議案第5号 平成28年度役員報酬について
- 議案第6号 積立金及び余裕金の預入先について
- 議案第7号 役員の補欠選任について

決 議

農業農村は、安全・安心な食料の安定供給はもとより、豊かな自然環境や生物多様性の保全、農地の洪水防止効果などによる防災機能など、多面的な機能の発揮を通じて県土を保全し、県民の暮らしを支える重要な役割を果たしてきたところである。

しかしながら、近年は農村の混住化の進展や局地的な豪雨等により広域的な溢水被害が多発している状況の中にあって、土地改良関係者は受益農家の負担と地域の協力、行政の支援を得ながら維持管理に努めてきたが、多くの土地改良施設は基準となる耐用年数を超え、老朽化によりその機能が低下し営農などに支障が生じており、防災・減災上からも農業用排水施設の整備が喫緊の課題となっている。また、国民の生命の源である安全・安心な食料生産、そして国内農業の再生に向けて、その抜本的な農業体质強化を図るために、効率的な生産活動に寄与する大区画化・汎用化や農業水利施設等の計画的な補修・更新、農村地域の防災対策のさらなる推進、とりわけ中山間地域の条件不利を解消するための農業生産基盤整備は防災上の観点からも重要なことである。

こうした状況の下、政府は総合的なTPP関連政策大綱を策定し、平成二十七年度補正予算にTPP対策費を措置するとともに、農林水産業・地域の活力創造プランや国土強靭化基本計画、さらには、地方創生や一億総活躍社会の実現に向けて、各種施策に積極的に取り組んでいくところである。

我々は、農村地域の持つ魅力や多面的機能の発揮を通じて、農村地域の活性化を図り、「水」、「土」、「里」を守り、国民共有の貴重な財産として次世代に引き継いでいく重要な責務を担う者として、「闘う土地改良」の旗印の下に総力を結集し、次の事項の実現を図り、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

- 一、農業生産の基盤である農業水利施設を始めとする農業用施設について、計画的な更新と適切な保全管理を推進するための、当初予算を確保すること さらに、TPP対策については、国が責任を持って必要な予算措置を講ずること
- 一、食料自給率の向上と集落営農を含む担い手への農地集積の加速化を実現し、強い農業を開拓するため、水田の大区画化、汎用化等の農地整備をはじめとした各種対策を着実に推進すること
- 一、頻発する災害への対応力を強化し安全・安心で快適な農村づくりとため池を含む老朽化した農業水利施設等の長寿命化と耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を着実に推進すること
- 一、多面的機能支払制度の推進に当たっては、国において十分な予算確保に加え、営農条件が悪く、農地の集積も難しい中山間地域では、経済性だけを追求するのではなく、集落（地域）機能が発揮できる対策を講じること
- 一、農業用水を利用した小水力など農村に豊富に賦存する資源の有効活用を促進し、土地改良施設の維持管理費の負担軽減や地域農業の活性化並びに再生可能エネルギーの地産地消を図るための対策を推進すること
- 一、多面的機能を有し、公共的な財産である土地改良施設を管理している土地改良区の役割を評価し、恒久的な行政支援による土地改良区運営基盤の強化対策を講ずること

平成28年3月18日

富山県土地改良事業団体連合会 第58回通常総会

富山県土地改良事業団体連合会役員名簿

平成28年4月1日現在

役 職	氏 名	他 の 役 職
会 長 理 事	河 合 常 則	
副会長 理 事	鹿 熊 正 一	朝日町土地改良区理事長
専 務 理 事	永 森 雅 之	
理 事	荻 野 幸 和	黒部川左岸土地改良区理事長
理 事	吉 野 勉	射水平野土地改良区理事長
理 事	中 川 忠 昭	常西用水土地改良区理事長
理 事	夏 野 修	砺 波 市 長
理 事	大 井 正 樹	高岡市土地改良区理事長
理 事	岩 田 忠 正	城端土地改良区理事長
代 表 監 事	木 下 俊 男	氷見市土地改良区理事長
監 事	上 田 英 俊	入善土地改良区理事長
監 事	津 田 修	婦負郡藤ヶ池土地改良区理事長

理事9名・監事3名

任期：平成26年4月1日～平成30年3月31日

富山県功労者表彰並びに土地改良功労者表彰

○富山県産業経済部門功労者（知事表彰）

井田川水系土地改良区 副理事長 若林 博之

○富山県農林漁業功労者（農林漁業振興会長表彰）

庄川上流用水土地改良区 事務局長 城宝 勇

○土地改良功労者（県土連会長表彰）

（役員の部）

愛本新用水土地改良区	理事長	愛場 正利
滑川東部土地改良区	理事長	谷川 秀明
水橋三郷土地改良区	理事長	浅井 哲夫
外輪野用水土地改良区	理事長	岩瀧 幹信
婦中南部土地改良区	理事長	竹中 廣徹
立山町土地改良区	理事長	福島 昇
上市町土地改良区	前理事長	上田 善一郎
旧庄川右岸中部用水土地改良区	理事長	表昌彦
福光町土地改良区	理事長	桃野 忠義
常西用水土地改良区	理事長代理	小又 健三郎
射水平野土地改良区	副理事長	石黒 勝三郎
福岡町土地改良区	副理事長	参納 幸雄
黒部川左岸土地改良区	理事	森能清治
愛本新用水土地改良区	理事	梨木 正秀
婦中土地改良区	前理事	松田 猛久
朝日土地改良区	理事	吉川 光進
旧保内土地改良区	理事	曾山 秀雄
小矢部川上流用水土地改良区	理事	川邊憲隆

（職員の部）

朝日町土地改良区	総務係長	藤井 知寿子
常西用水土地改良区	主任	小前国子
立山西部土地改良区	事務局長	中山 久美子
富山県土地改良事業団体連合会	係長	瀬尾 務
富山県土地改良事業団体連合会	係長	仲村 親憲



就任のご挨拶



水土里ネット富山（富山県土地改良事業団体連合会）

専務理事 永森 雅之

このたび、3月に開催された水土里ネットとやま第58回通常総会で理事に選任され、平成27年度理事会での選任により、4月1日より専務理事に就任いたしました。

平成22年度に全国の土地改良予算が激減するなか、富山県農林水産部農村振興課長・農村整備課長・参事それぞれの席で、皆様や県議会のご協力を得ながら、毎年何とか平年並みの県予算を確保し、皆様とともに事業を推進してまいりました。在職中は皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

「土地改良の先進県」と言われる本県の土地改良事業を先導してきた県土連の専務理事への就任は、極めて重責ではありますが、これまでの経験をもとに、皆様方のご期待に添えるようより良い会の運営に向けて専心努力いたします所存でございますので、何卒よろしくお願ひいたします。

ご案内のとおり農村は単なる食料生産の場だけではなく、景観の保全、文化の伝承、防災に資するなど多くの機能を有しております、その多面的機能の発揮は、地域社会において益々期待されております。そういう意味からも農村の「土と水」をしっかりと守ってきた土地改良区の存在が重要視されてきています。

今、農業農村を巡る状況は担い手不足や米価の低迷など多くの問題を抱えていますが、安全な食料を安定的に供給するだけでなく住みよい地域社会を存続させていくためにも、土地改良区が活力を持って地域をリードしていくことが大切となっています。

本会は、今後とも、計画に基づき会運営に万全を期すとともに、会員の負託にこれまで以上に応えられるよう、役職員一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

全国水土里ネット表彰式

平成28年3月25日、東京都千代田区「シェーンバッハ・サボー」において、全国土地改良事業団体連合会（会長 二階俊博）主催の第57回全国土地改良功労者等表彰及び農業農村整備優良地区コンクール表彰並びに21世紀土地改良区創造運動表彰式が開催されました。

農林水産省からは、森山 裕農林水産大臣を

－第57回全国土地改良功労者等表彰－

農林水産大臣表彰

金 章 表 彰

銀 章 表 彰

個 人 表 彰

氷見市土地改良区

高岡市土地改良区

上条用水土地改良区

石田博信

富山県土地改良事業団体連合会
専務理事

－農業農村整備優良地区コンクール表彰－

○農業生産基盤整備部門

全国水土里ネット会長賞 串田地区（大門町土地改良区）

はじめ、末松広行農村振興局長他幹部の方々が来賓として出席され、全国より受賞者をはじめ多数の関係者が参集しました。

本県からは、次の団体及び個人が受賞されました。受賞されました皆様には心からお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍を祈念いたします。



農業農村整備事業に関する要請

富山県知事、富山県議会議員への要請

平成28年度の予算編成に向けて、平成28年1月20日に河合会長、鹿熊副会長と理事、監事が、石井隆一富山県知事ならびに県議会議員に農業農村整備推進の要請活動を行いました。

要 請 先 石井知事、県議会議員

要 請 事 項 農業農村整備事業に関する要請

○農業農村整備事業の推進について

1. 農業農村整備事業当初予算の確保
2. 農山漁村地域整備交付金予算の確保
3. 農地耕作条件改善事業予算の確保

○中山間地域対策等について

1. 多面的機能支払交付金予算の確保
2. 中山間地域等直接支払交付金予算の確保
3. 鳥獣被害防止総合対策交付金予算の確保

○負担軽減対策について

1. 農業農村整備事業補助率の見直し
2. 土地改良区運営経費に対する支援
3. 土地改良施設管理に係る支援

○農業用水を利用した小水力発電の推進について

1. 農業用水利用小水力発電予算の確保
2. マイクロ発電導入・普及の推進
3. 買い取り価格の安定と継続
4. 発電関係の技術開発と事業の推進



富山県知事への要請

TPP関連対策予算などを含めた平成28年度補正予算および平成29年度当初予算の獲得に向けて、平成28年5月11日に河合会長、鹿熊副会長が、石井隆一富山県知事に農業農村整備事業推進の要請活動を行いました。

○土地改良事業の予算確保について

1. 農業競争力の強化のため、水田の大区画化・汎用化を進めるとともに、老朽化したダムやため池等の防災対策や、農業水利施設の長寿命化対策等を進める土地改良事業予算について、TPP関連対策予算などの平成28年度補正予算の獲得
2. 計画的・安定的な整備により、農業の競争力を高め、農業者の所得向上を実現するため、平成29年度当初予算において、現場のニーズに十分に応えられる規模の土地改良事業予算の確保



北陸四県土地改良事業団体連合会協議会 農業農村整備事業に関する要請

TPP関連対策予算などを含めた平成28年度補正予算および平成29年度当初予算の獲得に向けて、北陸四県土地改良事業団体連合会協議会（幹事県 石川県）では北陸四県の各土連の会長、事務責任者が、平成28年5月31日に東京都内にて、各県選出国會議員ならびに農林水産大臣ほか農林水産省の幹部職員に対して農業農村整備事業予算増額の要請を行いました。

特に齋藤農林水産副大臣、本川事務次官、荒川官房長、ならびに室本農村振興局次長にはそれぞれの執務室にて面会し、要請事項を直接伝えました。

要 請 先 農林水産省政務三役、県選出国會議員、農林水産省幹部職員

要請事項

○農業農村整備事業の着実な推進について

- ・農業農村整備事業（公共）当初予算の確保
- ・農山漁村地域整備交付金（公共）当初予算の確保
- ・農地耕作条件改善事業予算の確保

○農業・農村の再生に向けた支援

- ・「多面的機能支払」の予算確保
- ・「中山間地域直接支払」の予算確保
- ・「鳥獣被害防止総合対策交付金」の予算確保

○農家の負担軽減に向けた支援

- ・農家の負担軽減対策（国庫補助率の嵩上）や土地改良施設管理、土地改良区運営支援に係る補助事業の充実と十分な予算確保
- ・電気料金の値上げにより、農業用水利施設等の運転経費高騰の影響を受ける土地改良区への支援
- ・再生可能エネルギーを活用した小水力等発電施設整備にかかる補助制度の継続と安定した「固定価格買取制度」の運用継続



齋藤農林水産副大臣へ



本川事務次官へ



室本農村振興局次長へ



「第68回全国植樹祭プレ大会」魚津市で開催 ～第17回とやま森の祭典～

5月22日、魚津市出地内の「魚津桃山運動公園」で“たくさんの 緑かがやき 澄んだ水”をテーマに、富山県・魚津市・（社）とやま緑化推進機構・第68回全国植樹祭富山県実行委員会の主催による、「第68回全国植樹祭プレ大会」（第17回とやま森の祭典）が開催されました。

祭典には県内各地から森林・農業・漁業関係団体、花とみどりの少年団員など約3千人が参加し、開会宣言のあと、石井隆一富山県知事が式辞、村椿晃魚津市長が歓迎の言葉を述べられ、功労のあった個人及び団体に対し表彰が行われました。また、参加者による植樹活動では、優

良無花粉スギ「立山森の輝き」、コナラの苗木が約1600本植えられました。

本会は平成20年度から協賛として参加し、展示コーナーで農業用水の役割や小水力発電についてPRを行っています。特に今回は、地元「魚津市内の用水路」と「片貝川横断サイフォンと東山門筒分水槽」をテーマにパネル展示しました。また、農業用水が河川の下を伏せ越しする状況と農業用水の機能や流れ方などについて、模型を展示して、視察に訪れた多くの子ども達や参加者に紹介しました。



式 典



植 樹

水土里探訪ウォーク・イン「黒部川」の開催

- ・主 催：水土里探訪ウォーク実行委員会
(富山県、富山県土地改良事業団体連合会、東部土地改良協議会ほか3協議会)
- ・と き：平成28年6月4日（土）
- ・と こ ろ：黒部川公園（黒部市荻生）
- ・参加人数：233名
- ・コ ー ス：黒部川公園 → イベント広場 → 北電 黒西第二発電所 → やすらぎの滝 → カントリーエレベーター → 一本松 → ゴール（黒部川公園）の約7km

今回で25回目となる水土里探訪ウォークが、黒部川公園を主会場にて開催されました。開会式では、実行委員会長の志村利信 富山県農村整備課長が開会を宣言し、主催者を代表して常田幸雄東部土地改良協議会副会長が挨拶され、また、飯澤宗晴産業経済部長が歓迎のことばを述べられました。この後全員でラジオ体操を行い、さわやかな青空の下、参加者らは元気よくスタートしました。コースの途中では、農業用の施設や水力発電施設・JAカントリーエレベーター、

また治水・利水に関わる歴史的遺構を見学したりし、黒部川沿いの自然に触れながらウォーキングを楽しみました。最高気温28℃予想の中、心地よい風のおかげもあり皆さん無事に到着されました。ゴール地点では、お疲れの皆さんに黒部の名水が振る舞われ、また抽選による地元特産品等のプレゼントもあり、参加者の皆さんにはウォークを堪能して帰路に着いていただきました。



北陸地区農地集団化促進協議会通常総会及び農地集団化促進協議会研究会の開催

平成28年6月23日、新潟市において北陸地区農地集団化促進協議会（当番県：新潟県土地改良事業団体連合会）の平成27年度通常総会が開催されました。

来賓に北陸農政局農村振興部の前田土地改良管理課長、新潟県農地部農地整備課の佐藤課長を招き、北陸四県の事務担当者が出席しました。

総会は、新潟県土地改良事業団体連合会の熊田事務局長（会長代理）の開会挨拶の後、北陸地区農地集団化促進協議会永年勤続者表彰式が行われ、下記の4名が受賞され、本県から婦中南部土地改良区の五十嵐さんが受賞されました。引き続き、前田土地改良管理課長、佐藤課長の来賓挨拶がありました。

北陸地区農地集団化促進協議会 永年勤続者表彰

- 富山県 婦中南部土地改良区 五十嵐勝美
- 石川県 松任土地改良区 西村文子
- 福井県 福井県土地改良事業団体連合会 向恵
- 新潟県 新潟県土地改良事業団体連合会 湯浅利一

続いて議事に入り、熊田事務局長を議長とし平成27年度の事業報告、同収支決算、平成28年度事業計画(案)、同収支予算(案)、会費負担基準(案)、平成28年度役員の選任について審議され、原案どおり承認されました。

また、総会終了後に、北陸地区農地集団化促進協議会研究会が開催され、北陸農政局土地改良

管理課の前田課長から「土地改良制度の検証・検討状況について」説明報告、農地集団化事業に関する事例発表として富山県と福井県より発表がありました。その後、意見交換会を行いました。

翌24日は、西蒲原土地改良区で県道上、河間三ツ門地区農業水利システムについて現地研修を行い全日程が終了しました。



永年勤続者表彰



西蒲原土地改良区で現地研修

土地改良区の基盤強化を目指す各種研修会の開催

(1) 平成27年度富山県換地センター換地計画実務研修会

平成28年1月26日、富山県総合情報センターにおいて「平成27年度富山県換地センター換地計画実務研修会」が開催され、土地改良区、県、県土連の担当者ら53名が参加しました。

富山県換地センターでは、換地技術者育成を

目的とした研修会を年2回実施しており、今回は後期の研修になります。

研修会は、浦田一郎換地士部会長の開会挨拶の後、下記の内容にて行われました。

講義内容	講師
換地計画実務について	富山県土地改良事業団体連合会指導部 指導計画課 係長 筒井 政和
明日を拓く新たな農業技術について	富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 副所長 川口 祐男
交換分合の概要について	富山県土地改良事業団体連合会指導部 指導計画課 係長 筒井 政和



換地計画実務について



明日を拓く新たな農業技術について

(2) 平成27年度富山県担い手育成ほ場整備研修会

平成28年2月23日、砺波市文化会館の多目的ホールにおいて「平成27年度富山県担い手育成ほ場整備研修会」が富山県農村整備課との共催で開催され、県内の土地改良区・担い手農家・営農

組織・県関係者ら280名が参加されました。長原会長(大門町土地改良区理事長)の開会挨拶に続き、森松富山県砺波農林振興センター所長から挨拶があり、その後研修に入りました。



研修内容は次のとおりです。

- | | |
|---|--------------------|
| ・調整池とパイプラインによる水田灌漑システムについて
元富山県立大学教授
富山県砺波農林振興センター 指導課長 | 広瀬 慎一 氏
山森 主税 氏 |
| ・砺波玉ねぎによる1億円産地づくりについて
富山県砺波農林振興センター 担い手支援課 園芸振興班長 | 今井 徹 氏 |
| ・6次産業化法認定事業者で野菜・米加工品直売と観光農園
観光農園「うめかのお庭」(砺波市) (有)梅香園 代表 | 梅木 英孝 氏
梅本 恵子 氏 |

最初に、経年劣化が進行している砺波管内のパイプラインについて、対策を検討するため現地調査等を行った結果の報告があり、今後の水管理の合理化・効率化の方策としての示唆がありました。砺波玉ねぎは、県の「1億円産地づくり」の導入により関係機関との密接な連携の下、平成27年度には作付面積100ha・販売金額3億円を

それぞれ達成する見込みで、農業経営の取り組みとして他の地区の参考になりました。また、(有)梅香園さんからは、水稻・花き・大豆などの複合経営に始まり6次産業化法認定事業も受け、生産部門と加工販売・カフェ部門とで積極的に経営展開されている実績の報告がありました。

「井田川水系土地改良区」及び「大門町土地改良区」に合併認可書交付

平成28年2月1日、県庁4階大ホールで、富山市八尾地域の5土地改良区の新設合併による「井田川水系土地改良区」と、射水市大門地域の2土地改良区の吸収合併による「大門町土地改良区」の合併認可書の交付式が行われました。須沼英俊県農林水産部長から旧保内土地改良区の柳田勲理事長に、続いて大門町土地改良区の長原一夫理事長に合併認可書が手渡され、部長挨拶、両理事長からの返礼があり、記念撮影も行われました。

交付式には、須沼県農林水産部長、永森県農林水産部参事、大橋県農村整備課長、石田県土地改良事業団体連合会専務理事、井田川水系土地改良区関係者として柳田保内土地改良区理事長、若林井田川沿岸土地改良区理事長、谷井野積土地改良区理事長、清水八尾町卯花土地改良区理

事長、西田八尾南部土地改良区理事長、谷井富山市農林水産部参事農村整備課長、島田県富山農林振興センター所長ほか、大門町土地改良区関係者として長原大門町土地改良区理事長、表庄川右岸中部用水土地改良区理事長、稻垣射水市産業経済部長、畠高岡市農地林務課長、荒屋県高岡農林振興センター所長ほか、県、市、土地改良区の関係者が出席されました。

新しい時代に対応する土地改良区の運営基盤の強化を目指して、平成26年春から統合整備に向けての協議を進め、井田川水系土地改良区は受益面積1,263.1ha、組合員1,656名、大門町土地改良区は受益面積1,008.9ha、組合員1,477名による組織運営体制がスタートしました。

今回の合併で県内の土地改良区は73組織となりました。



合併認可書交付式



井田川水系土地改良区



大門町土地改良区

「井田川水系土地改良区」開所式で看板設置

平成28年2月1日、県庁での合併認可書交付の後、富山市八尾地域の5土地改良区が合併した「井田川水系土地改良区」の開所式が、富山市八尾農村環境改善センターで行われ、関係者約30名が新土地改良区のスタートを祝いました。

新土地改良区の事務所である同センターの入口に、前身の井田川沿岸、保内、野積、八尾町卯花、八尾南部の5土地改良区理事長、富山県島田富山農林振興センター所長、富山市上田農林水産部長、県土地改良事業団体連合会石田専務理事が、新土地改良区の看板を設置しました。

開所式後、組織役員会があり、その後、富山

市八尾コミュニティセンターにおいて関係者約90人が出席して発足式が行われました。



とやま土地改良区運営基盤強化計画 [富山県土地改良区統合整備第4次推進計画]策定

平成3年に、土地改良区の組織・運営基盤の充実を図ることを目的とした「富山県土地改良区整備計画」が策定され、富山県土地改良区合併推進本部が中心となって統合整備等を進めてきたところです。

しかし、農政の大きな転換期を迎える農業構造・農村の変化が進む中で、引き続き統合整備の推進や人材の育成・確保等により土地改良区の組

織・運営基盤の強化を図ることが必要であることから、平成28年3月に「とやま土地改良区運営基盤強化計画〔富山県土地改良区統合整備第4次推進計画〕」が策定されました。

今後とも、関係土地改良区、県、市町村、県土連等は連携を図りながら運営基盤の強化を推進することとしています。計画の概要は次ページのとおりです。

とやま土地改良区運営基盤強化計画

[富山県土地改良区統合整備第4次推進計画]

概要

富山県土地改良区合併推進本部 平成28年3月

1. 統合整備の必要性

- ・土地改良区は、基盤整備や施設等の維持管理を行う組織として、農業生産性の向上や地域社会の発展に貢献してきたが、TPP合意など農政の大転換にも的確に応えるため、統合整備等による組織・運営基盤の強化を図ることが必要である。

2. 統合整備の実績

H3年度

富山県土地改良区整備計画（県策定 「整備計画」）

推進期間：H4～10（7か年）

目標：206→53 土地改良区（△153）

- ・受益面積は、1,000ha以上

- ・面土改は、原則市町村単位で合併

- ・線土改は、原則水系単位で合併

[H3末土改数]
206

H4～ 富山県土地改良区合併推進本部
《統合整備推進の中核的組織》（事務局：県土連）
(委員：県、市町村、県土連等)

↓
統合整備推進への支援
統合整備補助金（国補1/2：県1/2）

[H10末実績]
206→181【△25】

H11年度

富山県土地改良区統合整備推進計画（第2次計画）（合併推進本部策定）

推進期間：H11～17（7か年）

目標：整備計画の△153の70%（△107）（206土改→99土改）

[H17末実績]
181→95【△86】

H18年度（H23年度期間延長）

富山県土地改良区統合整備推進計画（第3次計画）（合併推進本部策定）

推進期間：H18～27（10か年）

目標：H17末95の30%以上の統合整備（95土改→65土改以下）

[H27末実績]
95→73【△22】

3. 土地改良区を取り巻く情勢と期待される役割

- ・土地持ち非農家の増加や農家の高齢化、農地集積の進展、地域の営農形態の多様化等、農業構造・農村の変化が進む中で、土地改良区を取り巻く状況はますます変化しており、賦課金負担(3条資格者)や施設管理の適正化等の諸課題への対応が重要となってきている。
- ・土地改良事業の実施及び公共的な財産である土地改良施設の管理組織として、「適正かつ効率的な土地改良区運営」を行い、その上で、「地域の農業振興への一層の貢献」や「地域社会の活性化等への積極的な取組み」が求められている。

4. 基本方針等

統合整備の推進や人材の育成・確保等により土地改良区の運営基盤の強化を図る。

(1) 基本方針

① 組織・運営基盤の強化（統合整備の推進等）

- ア 組織・運営基盤を点検し、強化を推進する。
 - ・合併済み土地改良区も含めて組織点検する。
 - ・合併・解散、再合併、合同事務所化や事務委託等により、組織運営の適正化を進める。
- イ 「富山県土地改良区整備計画」を基本に、統合整備を推進する。
 - ・土地改良区の統合整備は、合併を原則とする。
 - ・統合整備後の土地改良区の受益面積は、1,000ha以上となるよう努める。
 - ・土地改良区の統合整備は、水系単位又は市町村（旧市町村）単位の合併を原則とする。

② 人材の育成・確保

- ア 役職員の意識向上や情報を共有するための研修や啓発等を進める。
- イ 研修等を通じて必要な技術力を有する人材の育成・確保を図る。

(2) 推進期間

推進期間は平成28年度から平成32年度までの5カ年とする。

(3) 推進期間における目標

① 土地改良区数

推進期間において、73土地改良区の25%以上の統合整備を目標とする。
(73土地改良区→54土地改良区)

② 職員確保等による事務の適正化

複数職員の確保を目標とし、小規模土地改良区においては合同事務所化や事務委託等により事務の適正化を図る。

(4) 推進体制

関係土地改良区、県、市町村、富山県土地改良事業団体連合会は、常に連携を図りながら積極的に運営基盤の強化を推進する。

(参考) 統合整備の効果

- ① 組織運営面…事務経費の削減と効率的な運営
専任職員の確保、事務の電算化等により事務処理体制が強化
- ② 管理体制面…施設や用排水の管理の一元化、効率的な維持管理
- ③ 事業実施体制面…新たなニーズに向けた事業対応が可能
- ④ 行政、関係機関との連携…市町村等との連携の強化

平成27年度「水の事故・ゴミ捨て防止」－農業用水って何だろう？－ 標語及びポスター募集 受賞作品

農業用排水路やため池における水難事故やゴミ投棄の防止を呼びかけるため、標語及びポスターを募集し、受賞作品を小中学校などに配

布しています。

今回は、標語637点、ポスター424点の応募があり、優秀作品21点が選定されました。

ポスターの部

富山県知事賞(最優秀賞)



魚津市立西部中学校
寺崎 真実
2年

「水の事故・ゴミ捨て防止」標語・ポスター募集の沿革

- 昭和52年度 標語ステッカーの配布
- 昭和55年度 県職員からの標語募集を開始
- 昭和59年度 市町村(農地関係課)を募集対象に追加
富山県市長会、富山県町村会、富山県土地改良事業団体連合会が共催となる
- 平成元年度 小中学校を募集対象に追加
- 平成2年度 一般を募集対象に追加
- 平成3年度 ポスター募集を開始
- 平成14年度 水の事故に加え、ゴミ捨て防止についても呼びかけ
- 平成21年度 標語ステッカー及びポスターに代わり、カレンダー配布

富山県知事賞



砺波市立出町中学校
村井 優希乃
3年



砺波市立出町中学校
笠前田 真実
2年



富山市立保内小学校
武田 鴻
4年



富山市立速星小学校
渡辺 悠月
4年



富山市速星小学校
有澤 寧来
2年

富山県土地改良事業団体連合会長賞



標語の部

賞	学校名	学年	氏名	標語
富山県賞	射水市立歌の森小学校	2年	近藤 杏珠	うれしいね みらいにつなぐ いのちの水
	上市町立上市中央小学校	3年	柴田 鼓己	まもりたい ほらるがキラキラ あそぶ川
	立山町立立山小学校	4年	黒田ひいろ	きれいな用水で実る 大地のめぐみ
	富山市立堀川南小学校	6年	高尾 英朗	越の国 水が育む 米どころ
	富山市立上条小学校	6年	荒木 良菜	川遊び 魚に夢中 あぶないよ
富山県土地改良事業団体連合会長賞	上市町立陽南小学校	1年	上田 竜馬	わすれない みずのこわさも たのしさも
	富山市立神明小学校	3年	牧野 漣音	まもうよ ふるさとの水 いつまでも
	滑川市立北加積小学校	4年	里崎 礼	用水じこ みんなでこえかけ ふせごうよ
	砺波市立庄東小学校	5年	示野 佑空	命を育てる用水に 支えられている ぼくらのふるさと
	舟橋村立舟橋小学校	6年	石金 由佳	ちょっと待て 捨てる気持ちを 持ち帰ろう

第5回「とやまの農山村写真展」入賞作品

平成28年2月12日、富山県民会館にて「とやまの農山村写真展」表彰式が行なわれました。

富山県では、美しく豊かな農山村を後世に守り伝えていくために、広く県民の皆様に農山村地域の素晴らしさや大切さを知っていただき、保全活動などへの参加を促すことが必要であることから、啓発活動の一環として、「とやまの農山村写真展」を開催しています。

第5回となる今回は、全応募数134点(一般部門120、ジュニア部門14)の中から15点(一般部門10、ジュニア部門5)が入賞されました。

入賞作品と受賞された方は次のとおりです。

主催：富山県
共催：富山県土地改良事業団体連合会
とやま棚田ネットワーク

富山県知事賞

【一般部門】



最優秀賞 「冬日」



優秀賞 「ハイ・キャッチ」



優秀賞 「雪は宝」

【ジュニア部門】



最優秀賞
「冬支度」



優秀賞
「おばあちゃんとかかし」

富山県土地改良事業団体連合会長賞(棚田賞)

【一般部門】



「色づく棚田」



「夕暮れの稻刈り」



「田植え」

【ジュニア部門】

入賞者一覧

(敬称略)

賞			受賞者	市町村	タイトル
富 知 山 事 県 賞	一般 部 門	最優秀賞	吉沢 道子	高岡市	冬日
		優秀賞	吉田伊佐夫	富山市	ハイ・キャッチ
		優秀賞	梶原 隆	富山市	雪は宝
	ジュニア部門	最優秀賞	川尻ちひろ	富山市	冬支度
		優秀賞	小川 稔介	氷見市	おばあちゃんとかかし
富山県土地改良事業団体連合会長賞	一般 部 門	棚田賞	平井 典子	富山市	色づく棚田
			若林 繁	富山市	夕暮れの稻刈り
	ジュニア部門	棚田賞	向柴 伊吹	氷見市	田植え
と や ま 棚 田 ネ ッ ト ワ ー ク 会 長 賞	一般 部 門	特別 賞	稻葉恵美子	黒部市	田園の彩り
			小川 圭二	富山市	砺波平野のチューリップ畑
			杉山 邦雄	高岡市	農村の朝
			三国 機	氷見市	三人娘
			山田 俊子	富山市	田植を終えて・・・・・・
	ジュニア部門	特別 賞	細川 真暉	砺波市	となみ野の夏
			堀 文乃	富山市	肥ゆる秋

入賞作品は県内各地にて巡回展示をしています。詳しくは下記ホームページをご覧下さい。

「とやま棚田ネットワーク」ホームページ

<http://www.nn-toyama.jp/tanada/tanada.htm>

情 報

◆土地改良施設の診断・管理指導及び相談◆

本会では管理専門指導員による土地改良施設の点検、整備、操作等土地改良施設の管理に関する専門的な診断管理指導を行っています。

① 土地改良施設の診断業務

本年度は、定期的な施設診断として頭首工・揚水機・ため池等、50箇所を予定しております。また、施設管理者からの要請診断も受け付けています。施設診断の際は、現地立ち会い等、ご協力お願いいたします。

【維持管理適正化事業新規加入について】

上記①の要請診断を行った施設の平成29年度(適正化:41期生、施設改善:31期生)加入要望地区ヒヤリングは、9月に各農林振興センターにおいて実施する予定です。

問い合わせ先 管理指導センター室 TEL:076-424-3380 FAX:076-424-3332

e-mail:kanri@tomidoren.jp

② 土地改良事業相談業務

本会では相談指導員を配置し、下記事項に関する助言及び指導を随時行っていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

- | | |
|----------------------|------------------|
| ・土地改良事業計画の作成 | ・工事の実施に関する指導 |
| ・事業主体の組織運営上の指導 | ・土地改良施設の管理に関する指導 |
| ・農業水利に関する指導 | ・土地改良法令に関する指導 |
| ・換地処分その他農用地集団化に関する指導 | ・その他 |

◆非補助農業基盤整備資金のご案内◆

1. 非補助農業基盤整備資金とは

土地改良区等が国からの補助を受けないで、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫等が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利で融資する資金です。国の補助対象でない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

2. 対象となる事業種類・内容

かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道(軌道等運搬施設を含む)、畦畔整備、農地造成、防災・農地保全、農業集落排水(農村下水道)、発電施設。

維持管理計画書作成に係る調査費、土地改良区事務所の新增築、事務機器や複式簿記導入に係るシステム、車両など

3. 融資条件

●貸付対象者

土地改良区、土地改良区連合(事業主体となる場合に限る)、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む方、農業振興法人

●償還期間 25年以内(うち据置期間10年以内)

【農業農村整備資金利率】

区分		H28.5.25現在
補 助 事 業	県 営	0.25 %
	団 体 営	0.10 %
非 補 助 事 業	一 般	0.10 %

〈お問い合わせ先〉

- ・富山県農林水産部農村整備課換地業務係 076-444-3375
- ・北陸農政局農村振興部土地改良管理課 076-263-2161(代表)
- ・富山県土地改良事業団体連合会事業部管理指導課 076-424-3380

〈融資担当機関〉

- ・日本政策金融公庫富山支店 076-441-8411
- ・農林中央金庫富山支店 076-445-2508(公庫受託課)

情 報

◆富山県農業用水小水力利用推進協議会から◆

当協議会も設立後、4年目を迎えることになりました。さらなる富山県における小水力発電等の推進に向けた活動を実施しますので、会員各位のご理解、ご協力の程よろしくお願いします。

情報を次のとおり紹介します。

◆平成28年度総会について

- 日 時:平成28年6月27日(月) PM 2:00~
- 場 所:富山県土地改良事業団体連合会3F研修会室
- 内 容:平成27年度事業報告・同収支決算
平成28年度事業計画・同収支予算(案)
- その他:総会終了後、富山県農林水産部農村整備課からの講演

◆小水力発電工事進捗状況等の写真(地域用水環境整備事業 平成26年度着手地区)



【FRPM曲管 φ2200 : 350万円／本】



【浦山新:管布設】



【芹谷野用水：発電所基礎面】



【黒谷：取水工から発電所】



【黒谷：水圧管布設工事】



【中滝：発電所建設中】



【小川用水：田下にFRPM管埋設】



【小川用水：発電水車】



【新明：発電所基礎】



【常東合口幹線：取水施設】



【布施川：水車発電機据付】



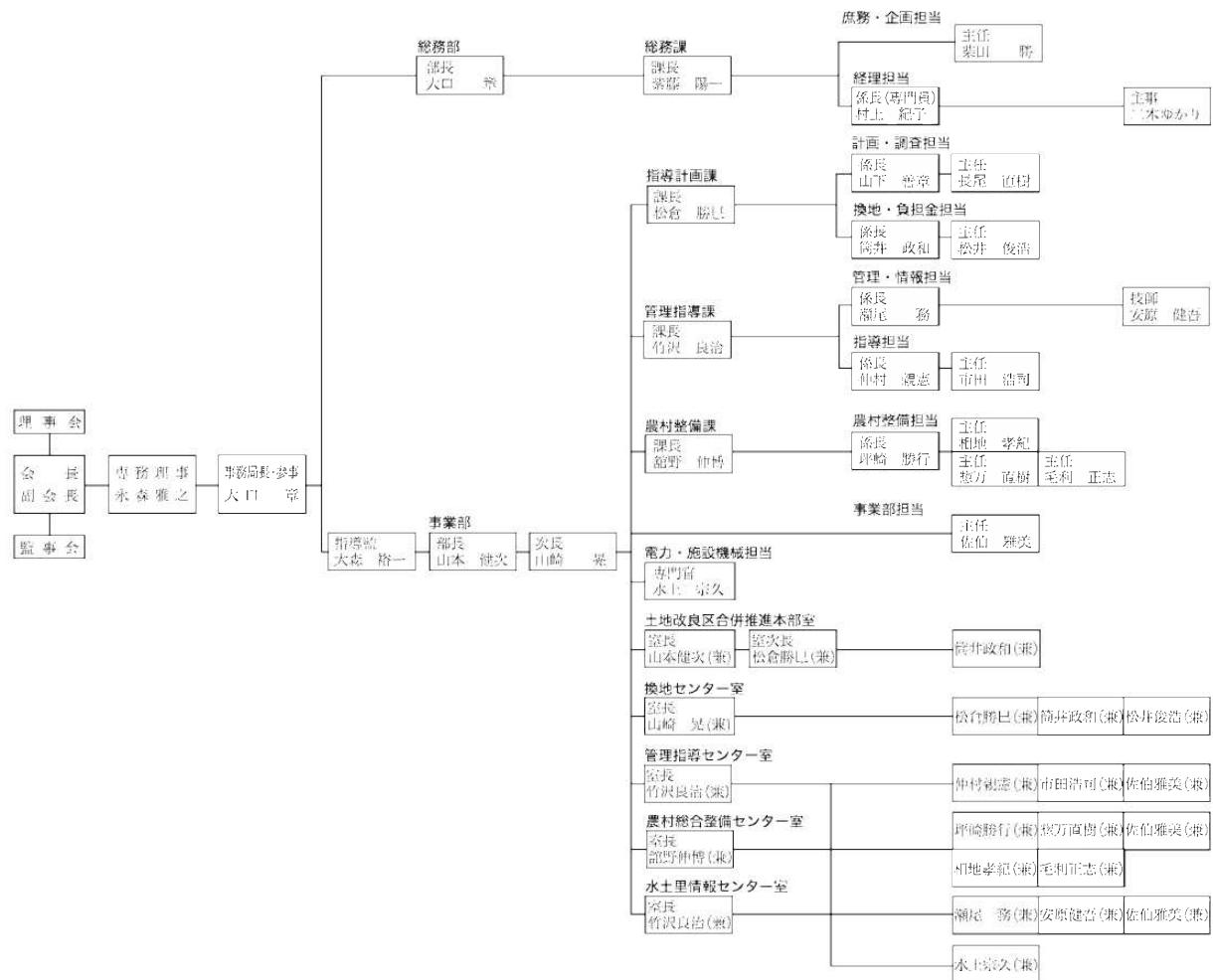
お 知 5 せ

●今後の主な行事予定(平成28年7月～12月)●

月日	会議と行事	場所	参加対象	備考
8月9日(火)	第10回「元気とやま」むらづくり推進大会	富山県民会館	関係者	後援
9月21日(水)	平成28年とやま水土里フォーラム	小杉文化ホール「ラポール」	関係者	主催

(注) 本案はあくまでも予定であり、別途詳細案内等を確認のうえ参加ください。

●富山県土地改良事業団体連合会機構図 (平成28年4月1日現在) ●





水土里探訪ウォーク・イン「黒部川」(黒部市)

農業農村整備事業等の調査・測量設計等業務に関する
ご相談は、下記までお問い合わせください。

富山県土地改良事業団体連合会

〒939-8214 富山市黒崎17番地
TEL076-424-3300 FAX076-424-3332
<http://www.tym-midori.net/tomidoren>

